

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
 コード番号 3668 URL https://colopl.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 貴志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 原井 義昭 TEL 03(6721)7770
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	7,108	△4.0	11	△98.5	△442	-	△413	-
2022年9月期第1四半期	7,406	△14.1	758	△44.8	1,091	△37.3	677	△45.8

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 △745百万円 (-%) 2022年9月期第1四半期 415百万円 (△68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	△3.23	-
2022年9月期第1四半期	5.29	5.28

(注) 2023年9月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	78,455	73,266	93.4
2022年9月期	83,280	76,575	91.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 73,260百万円 2022年9月期 76,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2023年9月期	-	-	-	-	-
2023年9月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年9月期の配当予想額は未定であります。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社 Brilliantcryptoを設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	129,984,023株	2022年9月期	129,984,023株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	1,778,544株	2022年9月期	1,778,544株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	128,205,479株	2022年9月期1Q	127,987,490株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結会計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしい」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しております。当第1四半期連結累計期間において、エンターテインメント事業では、ユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運用及び新作タイトルの開発に注力してまいりました。投資育成事業では、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,108百万円（前年同四半期比4.0%減）、営業利益は11百万円（同98.5%減）、経常損失は442百万円（前年同四半期は1,091百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は413百万円（前年同四半期は677百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

a. エンターテインメント事業

エンターテインメント事業は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運用を行っております。

当第1四半期連結累計期間において、売上の多くを占めるスマートフォン向けゲームでは、新作タイトル「白猫GOLF」の配信を開始しました。既存タイトルにおいては、「ドラゴンクエストウォーク（企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社）」が堅調に推移し、当社グループの連結業績に貢献しました。また、自社IPの「白猫プロジェクト」や「アリス・ギア・アイギス」が人気IPとのコラボイベントを開催するなど、ユーザーとのエンゲージメントを高めるサービス運用を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,067百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は233百万円（同70.7%減）となりました。

b. 投資育成事業

投資育成事業は、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ出資ファンドにおける営業投資有価証券の売却等による収益が発生しました。また、保有する営業投資有価証券の一部について減損処理を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は40百万円（前年同四半期比268.4%増）、営業損失は222百万円（前年同四半期は39百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は72,279百万円（前連結会計年度末比5,638百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金と営業投資有価証券が減少したことによるものであります。

また、固定資産は6,175百万円（同812百万円増）となりました。これは主に、投資その他の資産が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は78,455百万円（同4,825百万円減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,383百万円（同1,310百万円減）となりました。これは主に、未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は805百万円（同205百万円減）となりました。これは主に、その他の固定負債が減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は5,189百万円（同1,516百万円減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は73,266百万円（同3,309百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示はいたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,330	56,787
売掛金及び契約資産	4,910	4,092
営業投資有価証券	10,334	9,383
棚卸資産	532	639
その他	1,832	1,397
貸倒引当金	△21	△21
流動資産合計	77,917	72,279
固定資産		
有形固定資産	1,837	1,800
無形固定資産	21	19
投資その他の資産		
その他	3,510	4,362
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,503	4,355
固定資産合計	5,363	6,175
資産合計	83,280	78,455
負債の部		
流動負債		
未払金	2,239	1,954
未払法人税等	1,923	114
その他	1,531	2,314
流動負債合計	5,694	4,383
固定負債		
資産除去債務	727	728
その他	283	76
固定負債合計	1,011	805
負債合計	6,705	5,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,587	6,587
資本剰余金	6,328	6,328
利益剰余金	67,028	64,051
自己株式	△4,645	△4,645
株主資本合計	75,299	72,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,083	749
為替換算調整勘定	186	189
その他の包括利益累計額合計	1,269	938
非支配株主持分	6	6
純資産合計	76,575	73,266
負債純資産合計	83,280	78,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,406	7,108
売上原価	5,290	5,134
売上総利益	2,116	1,973
販売費及び一般管理費	1,357	1,961
営業利益	758	11
営業外収益		
受取利息	8	28
為替差益	130	—
投資有価証券売却益	234	77
デリバティブ運用益	13	—
雑収入	49	10
営業外収益合計	436	116
営業外費用		
為替差損	—	507
投資有価証券評価損	48	—
投資有価証券売却損	48	31
デリバティブ運用損	—	29
雑損失	6	2
営業外費用合計	103	570
経常利益又は経常損失(△)	1,091	△442
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,091	△442
法人税等	414	△29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	677	△413
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	677	△413

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	677	△413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	△334
為替換算調整勘定	△30	3
その他の包括利益合計	△261	△331
四半期包括利益	415	△745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415	△744
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社Brilliantcryptoを設立し、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,395	11	7,406	-	7,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,395	11	7,406	-	7,406
セグメント利益又は損失 (△)	798	△39	758	0	758

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,067	40	7,108	-	7,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,067	40	7,108	-	7,108
セグメント利益又は損失 (△)	233	△222	11	0	11

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。